

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	住吉区
学校名	大空小学校
学校長名	市場 達朗

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・児童に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・大空小学校では、第6学年 43名

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は27年度と比べ、国語Bで2.8ポイント、算数Aで1.3ポイント、全国平均値との差が縮まった。しかし、いずれの教科においても全国平均を5.1～8.1ポイントを下回っている。算数ABでは、いずれも分布図が二山となり、個人差が大きくなっている。個々の能力に大きな開きが見られる中、既習事項の積み重ねに課題がある数名の児童に関しては、克服すべき課題が大きい。学習に関して課題を持つ児童（支援が必要な児童も含めて）の正答率は低いため、全体の正答率が下がっている。無回答率については、いずれの教科もほぼ0%に近く、あきらめずに最後までやり通す姿勢は評価できる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「漢字を書く」や「目的に応じて本や文章を比べて読む」に努力が必要。漢字の読み書きや言葉の使い方など、基礎基本の徹底した指導や読む能力のさらなる向上が課題である。「登場人物の人物像を捉える」や「目的に応じて、質問したいことを整理したり、グラフを基に自分の考えを書く」にがんばりが見られる。これまでの「言語力や論理的思考の育成」に向けて、全校で取り組む「さよならメッセージ」の成果が表れている。

〔算数〕「数と計算」の領域に努力が必要。基礎基本の徹底した指導や、朝学習やOZORA塾、放課後ステップアップなどの少人数での指導の充実を図る。「数量関係」の領域では、「必要な情報を判断し特定する」や「式の意味の説明を記述する」にがんばりが見られる。今後も、電子黒板やプロジェクターを使った視覚的学習として、ICTを活用した教育を推進する必要がある。

質問紙調査より

自尊感情が例年よりも低い傾向が見られる。常に多くのさまざまな大人に見守られ、認められる体験を更に向上させていく必要がある。「将来の夢や目標を持つ」割合は高く、「ふれあいいっぱい・ゆめいっぱい」のめざす学校像の実現に向けて継続していく。規範意識について低い傾向が続いているのは、「たった一つの約束」をやぶった時には「やり直し」をすることが定着しているため、子どもたちにとっては、より規範意識には厳しく判断する傾向がある。ものごとを最後までやり遂げる達成感の高さは、毎学期のコンサートをつくりあげる体験が大きな役割を果たしている。家庭学習は予習や復習など、進んでしていると答える児童は少なく、宿題も含めてより家庭との連携を進めていく必要がある。

今後の取組

漢字の読み書きのスキルを継続するとともに、表現する力が伸ばせるような場の設定を工夫する。スピーチ力だけでなく、対話やコミュニケーション能力をのばすために、相手の話や書いている内容を理解し、適切な答えを返すなど、日々の「学び合い」の学習をより進化させていく。朝の計算タイムの継続した指導とともに、宿題や復習などの反復学習を徹底していく。また、個に応じた指導をするとともに、子どもが学ぶ・子ども同士が学び合う授業をつくる。本校は自分が自分の学校をつくっている。この大空の教育が常にぶれないことを子どもの周りの大人が確認し、「たった一つの約束」（自分がされていやなことは人にしない・言わない）を守ることと、「4つの力」（人を大切にする・自分の考えを持つ・自分を表現する・チャレンジする）をつけることを大切にしていく。